

「小さな拠点づくり」のイメージ共有に向けたグループワーク手法による研修の実践

～ 共有・共感からはじまる地域づくりの手法 ～

研究の背景・目的

第4期中山間地域活性化計画(H28～H31)において、住民と一体となって取り組む重点施策の1つとして「小さな拠点づくり」を掲げています。これは、(1)生活機能の確保、(2)生活交通の確保、(3)地域産業の振興を複合的に取り組むために、地域における新たな運営の仕組みの構築を目指すものです。

この実践は、地域における様々なセクターが活発に意見を出し合い、より具体的なイメージ共有を進めていくことを目的としています。

研究方法

- ①『「小さな拠点づくり」に向けた担当者研修会』(2016年8月10日開催)におけるグループワークの実践
- ②『広島大学たおやかプログラムオンサイト研修in二条』(2016年8月17日～8月22日開催)における実践

研究状況

①地域の基幹集落・施設を設定し、生活機能(買い物/サロン)・交通機能(デマンドバス/福祉タクシー)・産業機能(農産加工グループ/物流)などの要素を複合的に組み合わせることで、今後の地域運営の仕組みを模造紙で表現して発表しました。



②地元学(集落・まち歩き)を行い、地域住民から課題や可能性をヒアリング調査しました。その結果をもとにしながら、地域の基幹施設(公民館など)の航空写真上に、小さな拠点機能をブロック玩具で制作し、今後の地域運営の仕組みを住民へ提案発表しました。



研究成果の活用・今後の研究計画

これらの手法は、地域の課題や可能性を図として共有しながら進めていく手法です。

参加者どうしで、手を動かしながら、言葉に出しながら情報や想いを共有していくことで、より参加者どうしの共感を高めていくことができます。今後、中山間地域対策における現場支援地区等への展開を進めていきたいと考えています。

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : 中山間地域支援スタッフ

研究担当者 : 檜谷、吉田

問い合わせ先 : 0854-76-3858 (直通)

E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp (代表)